

大沼自然探勝路案内図

大沼は、中心にある沼とそれを取り囲む湿原からなります。これらは何千年も前に溶岩流によって水がせきとめられて形成されました。大沼は約 4 ヘクタールにわたって広がっており、南側によく発達した湿原があります。

湿原には、ミズバショウ、コバイケイソウ、ワタスゲ、イソツツジをはじめとして湿った環境を好む植物が生育しています。春から秋にかけて、これらの湿地植物は、開花とともに、風景の所々に明るい色を加えます。

湿原を取り囲むのは、主にブナとミズナラの森で、この森にはアオモリトドマツとゴヨウマツ（五本の針葉を持つ松という意味）も点在しています。

沼とその周辺には、放流されたコイやフナを含むさまざまな野生生物が生息しています。カルガモなどの野鳥はここをすみかとしています。

1.2 キロメートルの探勝路は、沼の回りを一周します。ゆったりとしたペースで歩くと、約 1 時間の道のりです。湿地植物を保護するために板の道が敷かれており、最初の 300 メートルは車椅子でアクセスできます。